

令和7年度 公共事業再評価調書

1. 事業説明シート

(区分) (国補) ・ 県単

事業名	道路事業〔緊急道路整備改築事業（国補）〕		事業箇所	南アルプス市東南湖	地区名	国道140号（中川橋）	事業主体	山梨県
計画期間	当初計画	現計画	④特記事項（関連事業概要等）					
	R3～R7	—						
総事業費	300 百万円	— 百万円	300 百万円	なし				
①事業の概要								
①事業目的及び効果								
国道140号は、埼玉県熊谷市を起点とし南巨摩郡富士川町を終点とする延長約220kmの一般国道であり、第一次緊急輸送道路に指定されている。 本路線の一般河川西川を渡河する中川橋は昭和45年に架橋され、既に50年経過しており、老朽化が進行しているとともに上流側の路肩が確保されておらず道路線形も悪い状態となっており、大型車同士のすれ違いが困難な状況である。このため、本橋を架け替えることにより橋梁の耐震化、健全化を図るとともに、通過交通の安全を確保する必要がある。 □主要目標 ○災害に強い道路の確保 危険度：耐震未補強 損傷度等：C 緊急輸送路の指定：指定あり（第一次緊急輸送路） 自動車交通量 8,982台/12h(H27センサス) > 3,340台以上※ ※評価基準値 □副次目標 ○生活圈中心都市・拠点施設へのアクセス向上 混雑時走行速度：22.2km/h(H27センサス) < 30km/h以下※ 自動車交通量：8,982台/12h(H27センサス) > 3,340台以上※ ※評価基準値 □副次効果 ○アクセス機能の維持 （通行止めによる迂回に2倍以上の時間が必要になる道路である）								
②事業概要								
道路改良工 L=100m、橋梁工（中川橋） L=18.2m								
③全体計画								
		令和6年度まで	令和7年度 （評価実施年度）	令和8年度以降				
現計画	工事内容	測量設計 地質調査 用地補償 迂回路設置工 橋梁工	道路改良工 迂回路撤去工					
	事業費	270 百万円	30 百万円					
変更計画	工事内容	測量設計 地質調査	用地補償 迂回路設置工	橋梁工 道路改良工 迂回路撤去工				
	事業費	49 百万円	31 百万円	220 百万円				

※現計画欄は計画値、変更計画欄は前年度までは実績値、当年度以降は計画値を記入。

②事業位置図等

凡 例

今回事業評価箇所

2.評価シート（1）

（1）事業を巡る社会経済情勢等の変化
（今回の再評価で変更がある場合、変更事項を説明するために必要な内容）

①地域・住民の意向状況

変化なし

②産業・経済情勢

労務費・建設資材費の上昇

③国等の方針

変化なし

④上位計画・関連事業計画等

- ・「山梨県総合計画」（令和5年10月改訂）
- ・「山梨県強靱化計画」（令和6年3月改定）
- ・「山梨県社会資本整備重点計画（第四次）」（令和4年9月改定）
- ・「山梨県道路の整備に関するプログラム」（令和7年3月改定）

⑤自然環境条件等

- ・変化なし

⑥その他

変化なし

（2）評価時点の費用対効果分析

項 目		着手時点		変更計画時点	
総事業費			百万円		百万円
工 期					
経 済 効 率 性	評価基準年				
	費用	百万円		百万円	
		建設費		百万円	
		維持管理費		百万円	
		その他(		百万円	
	便益	百万円		百万円	
		百万円		百万円	
		百万円		百万円	
		百万円		百万円	
		その他※		百万円	
	B / C				

老朽化した橋梁の架け替え事業のため不算出

（3）これまでの計画変更等の概要

なし

評価シート（２）

（４）事業進捗状況及び見込み

①進捗率

別表のとおり。

R7年度進捗率（現計画）100%→（実績）26.7%→（変更計画）26.7%

②進捗率実績が計画と相違している理由

借地交渉に時間を要しており、当初計画から遅れが生じた。

③総事業費の変更内容

変更工種等	事業費増減	変更理由
合 計		

④事業期間の変更理由及び進捗予定

借地計画に合意が得られず不測の日数を要し、工事着手に遅れが生じていることから、工期を5年延長する。借地計画の見直しを行い概ねの同意を得られたことから、工事進捗を図り令和12年度の完成を予定している。

⑤今後の事業執行における留意点

早期に借地契約を締結し、計画的な工事発注を行うことで、事業進捗及び工期短縮を図る。

（５）環境負荷等への配慮

なし

（６）コスト縮減の可能性

なし

（７）代替案立案の可能性

なし

（８）所管部の今後の方針 継続・見直し継続・その他（ ）

（理由）

借地計画に概ねの同意を得られたことから、継続的に事業を実施し、整備効果を早期に発現させるため、変更計画に基づき令和12年度の完成を目指す。

○別表-進捗率（事業費ベース）

算出方法：【上段】現計画の計画事業費／総事業費×100 【中段】現計画の実績事業費／総事業費×100 【下段】変更計画の計画事業費／総事業費×100 単位：％

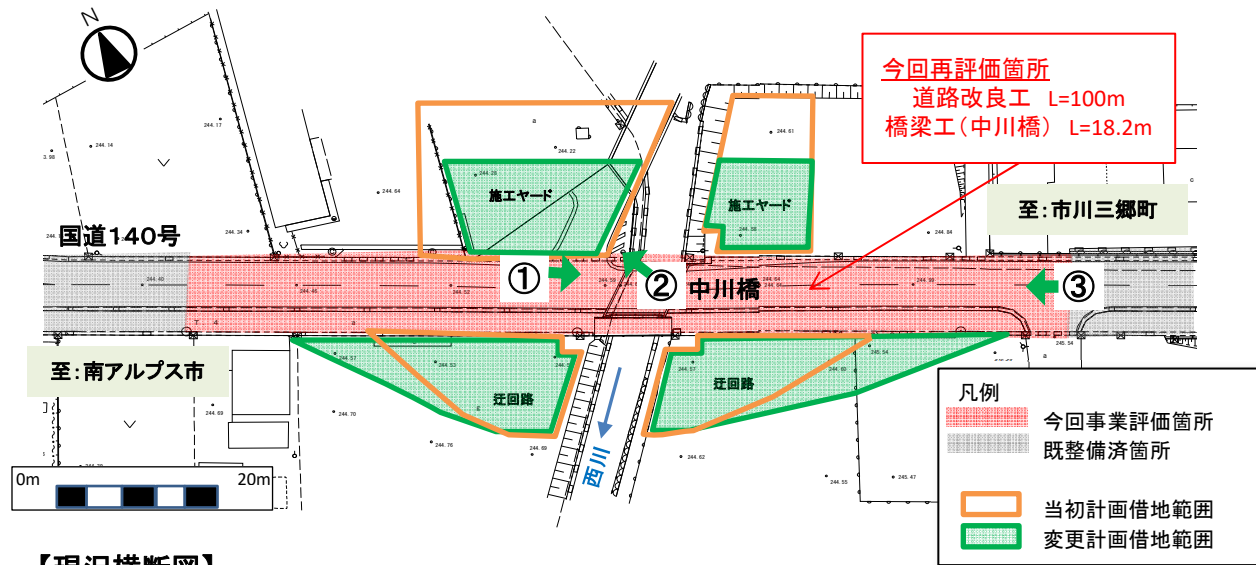
	年度						*R3	R4	R5	R6	*R7	R8	R9	R10	R11	R12			
現	計画						6.7	13.3	56.7	90.0	100								
	実績						8.0	13.7	15.8	16.4	26.7								
	変更計画										26.7	43.4	60.0	91.7	98.4	100			

*事業着手年度又は評価年度

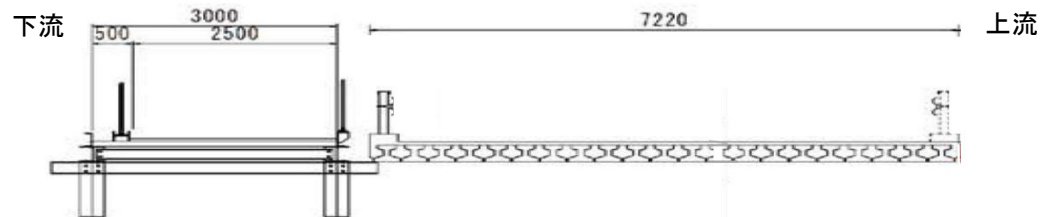
*R7年度の実績は見込み

3. 添付資料シート（1）

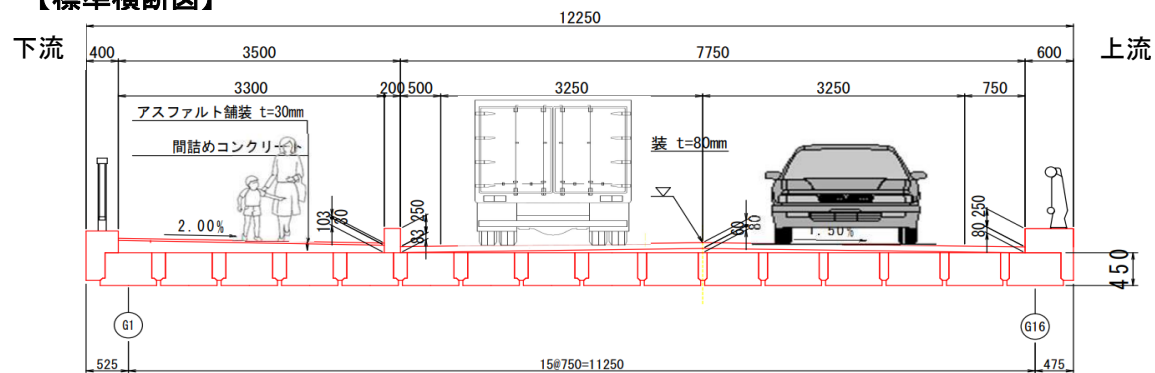
【平面図】



【現況横断面図】



【標準横断面図】



①道路状況(路肩部狭小)



②施工時用地(上流右岸)を望む



③道路状況(東から西を望む)



4.年度別事業費内訳表（変更計画の内容）

年度	変更事業費 (千円)	事業概要	進捗率 (%)
R3	23,850	現地測量 地質調査 道路・橋梁予備設計	8.0%
R4	17,270	道路・橋梁詳細設計	13.7%
R5	6,422	橋梁詳細設計 用地測量	15.8%
R6	1,602	用地測量	16.4%
R7	31,000	用地補償 迂回路設置工	26.7%
R8	50,000	橋梁工事	43.4%
R9	50,000	橋梁工事	60.0%
R10	95,000	橋梁工事	91.7%
R11	20,000	道路改良 迂回路撤去工	98.4%
R12	4,856	道路台帳	100.0%
合計	300,000		